

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 9月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム かぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東2-6-6 (電話) 082-209-1158		
自己評価作成日	平成30年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104849-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104849-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年9月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①毎日午後よりGH①、GH②合同でレクリエーションを行っている。内容を変えてご利用者様が楽しんでいただける様努めている。</p> <p>②職員が明るく笑い声が絶えない様に、又ご利用者様とのコミュニケーションを常にとる様に心がけている。</p> <p>③運営推進会議では、ご家族様とお茶を飲みながらリラックスした環境で開催している。</p> <p>④地域で行われている町内会には参加し交流を深めている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>この1年間の特徴的な取組みとして、第一に、「日常的な外出支援」の深化がある。即ち、利用者の「外に出たい」、職員の「陽にあたって欲しい」など、思いの実現として少人数で散歩や買物に出かけ地域住民と挨拶を交わしたり、地域交流を楽しんでいる。その日常的な風景・笑顔を写真に載せて家族と共有している。又、地元の家族も多く、普段から家族の協力で外食・美容院・受診等、毎週のように外出する利用者もいる。第二に、「事業所と地域とのつきあい」の深化がある。即ち、町内会に加入し、盆踊り等の地域行事に参加すると共に系列事業所と共催の夏祭りに地域住民が参加する他、季節行事等でボランティアも受け入れる相互交流もある。夏祭りでは町内会での案内や地域の新聞に折り込みチラシを入れて、草の根の絆作りを展開している。いずれも「本人と共に過ごし支えあう関係」を通して「一緒に笑い合える関係」作りに繋げている。</p>
---

自己評価	外部評価	項目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所の理念『相手本位の心』常にご利用者様には尊厳を持って接し否定する事なく、受容する姿勢を忘れず介護に従事している。	法人の理念の下に事業所の年間運営方針を策定・掲示してケアを実践する上での立ち返るべき原点として職員間で共有すると共に年に数回、職員会議にて検証を行っている。又、理念の下「個人目標達成シート」で職員は毎年目標設定を行い、半期毎に管理者との個人面談の中でその実施状況や達成度を検証している。	新たな体制に即した理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に事業所で分り易い具体的な年間行動目標・計画を設定し、定期的に達成度を検証・記録する案等、評価の検証過程を「可視化」することで、職員間の認識を共有化し、理念の深化・定着を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事がある際は事前に町内会で報告し、新聞にチラシを入れて参加を促している。出勤時や散歩に出掛けた際には近隣の方達と挨拶を交わしている。	日頃から散歩や買物の際に地域住民と挨拶を交わしたり、町内会に加入し、盆踊り等の地域行事に参加している。又、系列事業所と共催の夏祭りに地域住民の参加や季節行事等でボランティアも受け入れる相互交流もある。更に中学生の職場体験や近隣保育園からの訪問や運動会見学等、世代間交流もなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎回開催される町内会や夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催される遅くとも1ヶ月前には民生委員、地域包括センター、ご家族様に連絡している。開催時には現在の状況、今後の取組み又ご家族からの意見要望を聞き的確に答えられるよう心掛けている。	会議は今春までは隣接系列事業所と合同で、6月からは事業所単独で定期的に開催され、家族は毎回、地域包括支援センター職員・後見人が時々参加している。事業所の現況や活動報告が参加者との意見交換と共に行われ、参加者からの提案で、テーブルの配置換えや食事の事前取り消しの期限等を決めた経緯がある。	会議と事業所行事の同日開催や日頃から家族参加の呼び掛け、不参加家族との情報共有のため議事録送付・閲覧等の工夫もあるが、今までの会議は活発な意見交換の場とはなっていない様である。今後は地域住民に呼びかけ、様々な職種の参加により多面的な議論を可能にする案等、会議の更なる活性化を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者と出来るだけ連携が保てる様に電話などで質疑応答に努めている。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が参加し情報共有を図ると共に、区担当課に開催報告書の送付や会議への参加依頼等を行っているが、今後は持参して連携を図りたい意向がある。行政主催の虐待等の研修に参加したり、生活保護に関しても担当課職員が定期的に訪問する等、関係構築が図られている。	

自己評価	外部評価	項目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が出入りするドアは防犯上の理由で電子ロックを使用している。GH①・②の中扉は常に開放しており、ご利用者様に行き来してもらっている。	職員会議・研修・マニュアル等にて「拘束はしない」必要性を認識しており、拘束例はない。出入口は防犯上電子ロック対応である。転倒防止に低床ベッドとマット導入の工夫や不適切なケアに対する配慮もある。又、今回の制度改正に伴い、身体拘束の適正化に向けて委員会等の整備にも取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一度のミーティングで何が虐待かどこまでを虐待というのかの話は常に行っている。研修にも参加し職員間で共有している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、グループホームにて2名様が成年後見制度を用いている。その都度、知識が得られるよう学んでいる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には約款の内容を説明し質問等に答えている。又、重度化した場合の対応やリスクについても説明している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様、ご家族様の意見、要望は運営推進会議又、ご家族様が来訪時等に聞かせていただき、ミーティングにて職員で共有している。意見箱も設置しておりご意見をいただく様になっている。	利用者の意見は日々の会話で把握し、家族とは意見箱や面会時・電話連絡・介護計画見直し時・運営推進会議等で、利用者毎の担当職員や管理者が積極的に聴く様に努めており、職員会議等で共有している。家族からの要望で食事の事前取り消しの期限や離設等の対策で出入口に電子ロックが導入された経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かぐや姫)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティングで出た意見や提案に対しては職員間で話し合い、内容は議事録に書きとめ、職員間で共有している。</p>	<p>毎月の職員会議、毎日の申し送りや年2回又は随時の個別面談を通して管理者は職員の意見を聞く機会を設け、業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員の提案で、ベッドから頻回に降りる利用者の転倒防止対策に車いすの設置を工夫し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修が月一回以上開催されており率先して参加し、ミーティングで研修内容を報告し全員で共有して、スキルアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流は多くないが、社外での研修で情報収集したり、他事業所、病院等のやり取りをしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様に雰囲気を見て感じてもらいながら、担当マネージャーよりも情報をしっかり把握して良い関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かぐや姫)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様との面談時に要望・質問事項等あった際は、納得いくまで説明させて頂きご家族様、施設間の信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	集めた情報を其にご家族様、ケアマネジャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を考える。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭に置き職員とご利用者様のくくりを出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にも積極的に関わりを持っていただける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が馴染みにされている美容院へご家族様と出掛けたり、ご友人が来られた際にはお茶を飲みながら昔話をされている。	「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしており、家族の協力も含め、美容院や墓参り等への外出を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。馴染みの主治医への受診や信仰の中間の面会の例もある。それらの情報は職員会議・申し送り等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かぐや姫)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけデイルームで過ごしていただき、職員を交えて会話を楽しみ孤立しない様支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ行かれたご利用者様に面会に行ったり、ご家族様の相談事には退所後も出来る限り応えている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いや希望は出来る限り意向に添うよう努めている。又、ご家族様にもご本人様の思いを伝え支援している。	職員は利用者の気持ちを大事にしながら、ゆっくり話す時間を作り、その方の行動を理解する様努めている。受容して利用者の強味に意識を向けていく。その他の情報は申し送り・ケース記録等に残し、職員間で共有している。又、意思疎通困難な利用者には表情等をよく観察して思いを推測し、関係作りをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様、馴染みの家具・食器・洋服等を身近に置いてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々の変化に気づける様、目配り、気配りし、その都度記録に残す様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かぐや姫)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は看護師、担当職員、ケアマネジャー同席の上で行っている。又、ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。</p>	<p>管理者・介護支援専門員等が情報収集・原案作成を行い、面会時に家族の同意を得て本案とする。利用者毎の担当職員が半年・1年毎にモニタリングを行い、作成担当者が計画を見直す。骨折の既往歴のある車いす使用の利用者の再骨折を防ぐため居室に帰ったらナースコールで知らせてもらうようにした例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等をケース記録に記入している。職員で共有し、介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様、ご家族様、その時々にも生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物等をしに出掛けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望があれば、かかりつけ医の受診は可能である。その際は、看護師がご家族様同行にて対応している。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、全ての利用者は協力医を主治医とし、協力医から月2回、協力歯科医から週1回の往診がある。専門医の受診は家族・職員・看護師による。非常勤看護師の配置もあり、協力医との連携を図った適切な医療体制が組織されている。医療情報は管理者・看護師が家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の体調の変化や異常時には、看護師、医師に報告し速やかに対応出来る様に支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者が入院された場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様、病院関係者と相談し今後の方針を決める様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時には契約と同時に重度化した場合についても説明後サインをいただいている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。</p>	<p>要望があれば看取りを行なう方針である。入居時に「重度化した場合の指針」を説明し、その場合の「介護についての同意書」で了解を得ている。看取り対応の際は医師・家族・関係者で話し合い、「看取り同意書・看取り介護計画」に移行し、指針に沿った適切な支援を行う方針である。数例の看取り経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員が対応出来る様にマニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。皆がいつでも見られる様にファイルに綴じている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練は実施している。防火管理者、職員立会いにて消防署より説明指導を受けている。(H30.3.7) 町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様に声掛けしている。避難場所：尾長東2丁目片河集会所 (H30年火災報知の自動化)</p>	<p>年2回の防火訓練の内1回は消防署立合いで階下の系列事業所と合同で夜間想定で行い、利用者も参加している。他は市総合防災センターでの研修に参加している。又、災害対策における地域との協力体制については、事業所は町内会に加入しており、定例会で口頭にて災害時における一般的な協力要請を行っている。</p>	



自己評価	外部評価	項目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮し、人生の先輩であり、常に尊敬を持って接する様に心掛けている。	利用者の意向に沿わない言動は虐待に繋がるとの認識から、「受容と共感の姿勢」でケアに関わり、不適切な対応に対しては管理者が指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。又、職員間でも声掛け等で不適切な対応に対しては、相互に注意し合える関係性も出来てきた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意志を尊重し無理強いや、強制を行わない様心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先を常に考え、お一人お一人がご自分のペースで生活していただける様に出来るだけ希望に添える様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限りご自分で整容していただく様声掛けしている。毎月、美容師にて散髪が行われている。入浴時には、職員と一緒にご本人様のお好きな服を選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食のみだが和食・洋食好みでお出ししている。食器を洗っていただいたり、お盆を拭いたりしていただいている。	階下の系列配食サービスで調理された食事が運ばれ、事業所はご飯と汁物を準備する。食事形態も刻み・ミキサー等で対応可能であり、利用者も食器洗い等、出来る範囲での協力をする。又、足台等、環境面の工夫もある。おせち等の行事食や少人数でフードコートでの外食やクルーズランチ等を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している食分量、水分量はすべて記録に残し、水分量が少ない時は声掛けしてお好きな飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けと、十分でないご利用者様には介助を行っている。2週間に一度歯科受診あり、口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後、義歯のご利用者様は入歯洗浄剤につけ、朝装着していただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後、排泄の声掛けを行い介助を行っている。又、訴えのある時は、誘導を行っている。その都度記録に残し排泄パターンを職員間で共有している。</p>	<p>排泄記録表等から各人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本としている。利用者の経済的負担も考慮し、安易な紙パンツの着用は避け、安心失禁パンツや布パンツに改善した自立支援にも取り組んでいる。夜間起きていればトイレ誘導等を行うが、良眠優先とする事もある。可動式手すり等の環境整備もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として水分をしっかりと摂取していただく様心掛けしている。又、便秘コントロールを看護師の指示にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週二回は入浴していただいています。が、ご利用者様の希望に添う様努めている。又、入浴の際職員と洋服を選んだり、昔話をしたりして入浴を楽しんでいただいている。</p>	<p>週2回の入浴を基本とし、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、好みの湯温や時間等で柔軟に対応している。入浴は半埋め込み式家庭浴槽での個人浴だが、利用者の負担を考え、シャワー浴や足浴等で対応したり、個人専用の泡洗顔料等も好評である。入浴をコミュニケーションの場としての意識も持ち、関わっている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の生活習慣を職員で共有し、無理強いしない様に入眠の声掛けを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬時には、職員とご本人様と一緒に名前、日付の確認をしている。新たに処方された薬がある場合は、服薬ノートに記入し職員で共有している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴をしっかりと理解した上で得意な事をさせていただき、日々を楽しく過ごしていただく様支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は散歩に出掛けたり、その際ご近所の方と挨拶を交わしている。ご利用者様とご家族様が外出に出掛けられる事もある。</p>	<p>普段から希望により少人数で近所の散歩や買物を楽しんでいる。盆踊り等の地域行事に参加したり、家族の協力で外泊・墓参り等に出掛けたり、季節行事として花見・菊花展等、普段は行けないような所へ外出し、「非日常」を楽しむこともある。又、フードコートやクルーズ船等のグルメツアーも好評である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族様よりお預かりしているお金で、ご利用者様が望まれる品物を買ったり、近くのお店へ行きご自分で買われたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( グループホーム かぐや姫 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様の希望時には、ご家族様へお電話の取次ぎをしている。年末には、お一人お一人に年賀状を書いていただき家族様へ送っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。一日に一回は居室の窓を開け、空気の入替えを行っている。	フロアは、職員が毎日掃除をし、清潔で居心地良い空間となっており、又、季節毎に利用者で作った飾り付けが会話の糸口にもなっている。又、トイレに可動式手すりを設置する等、生活しやすく、自立支援に資する環境整備もなされている。食事中はテレビを消しBGMを流して、食を味わえる環境面の配慮もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者様同士がソファに座ってお話されたり、新聞を読まれたり一人一人思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使用されていた品物を出来るだけ持って来ていただき、居心地良く過ごされる様支援している。	居室にはベッド・エアコン・クローゼットや一部には専用トイレが備え付けられている。仏壇等、使い慣れた物や自分で縫った服等、好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせる様にしている。又、必要に応じてポータブルトイレや転倒防止に低床ベッドとマットを導入し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立支援の為、最小限の介護を行うようにしている。事故、ケガ等がおこらない様に職員間で声掛けしながら、安全安心に過ごされる様に支援している。		

V アウトカム項目(グループホームかぐや姫) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 平成30年 10月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念「相手本位の心」を職員で共有して実施に繋げる。	実践する事によりケアの原点に戻り、半期毎の振り返りをしていく。	・半年毎の行動目標。 ・定期的に達成度の検証。 ・記録と管理者との個人面談の実施。	6か月以内
2	3	二ヶ月毎に運営推進会議を開催しているが、地域包括、後見人、家族様の参加だけではなく、様々な職種の参加を呼び掛けていく様努める。	様々な職種の参加により活発な意見交換の場にしていく。	地域住民又会社が企画したイベントに参加して、グループホームをより良く知って頂く。	2ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。